

# 伊国際靴見本市ミカム開幕

## 買い付け意欲高まる



欧州市場では個性が主張された製品を探すバイヤーが多い

【ミラノ＝須田渉美】婦人靴の卸ビジネスに復活の兆しが見えてきた。17日に開幕した伊の国際靴見本市ミカムでは、伊製の中高級品を求める欧州、ロシア勢の商談が活発化している。消費の低迷を受けて日本のバイヤーの来場者数は減ったが、ボリューム市場と一線を画した、目利きの専門店が今夏も実績を伸ばし、買い付け意欲を高めている。

主催者の伊靴メーカー協会によると、出展社数は前年9月展より約千減少して1441社。17日～18日の伊の輸出額は、仏1・4%増、スイス27%増、独2%増、英3・4%増、ロシア17・2%増と伸びており、18年春夏の仕入れにも、その傾向が反映されている。また、過去8年間減少し続けた伊国内の靴の消費が足数ベースで0・4%増、金額ベースで0・9%増とわずかな増とわずかな

### こだわりの製品に評価

社。1日目の来場者数は7%増えており、2日目に比べて17年1～5月の伊の輸出額は、仏1・4%増、スイス27%増、独2%増、英3・4%増、ロシア17・2%増と伸びており、18年春夏の仕入れにも、その傾向が反映されている。また、過去8年間減少し続けた伊国内の靴の消費が足数ベースで0・4%増、金額ベースで0・9%増とわずかな増とわずかな

対日輸出は、輸出額は1・2%減にとどまったが、足数ベースで13・0%減だった。1足当たりの平均価格は13・5%上昇して73円。婦人靴では、ブランド力のある「ファビオ・ルスコーニ」「ペリーゴ」以外で、FOB（本船渡し価格）80～115円の上質ブランドが18年春夏向けの受注を伸ばしている。為替は半年前より10円近く円安の135円で見積もるところが多いが、ラグジュアリーブランドのOEM（相手先ブランドによる生産）も伸びている。「バルダ」「デイミッセル」「ディヴァ」は、春夏の消化が良かったことから、既存の取引先から前シーズンを上回る受注数となった。20%以上の伸びを見込むデイミッセルは「マスではなく、限定したマーケットに向け

### 来場者2ケタ増に回復

#### 日本発ファッション雑貨が人気

【パリ＝松井孝通通信員】パリ国際見本市会場で8～11日に開催された合同展フーズネクス・ト／ブルミエール・クラス（PC）の来場者数は、前年同月比10・1%増の4万2122人だった。うち仏国内が64%を占め、仏国外では伊、スペイン、ベルギー、日本、英の順。パリ同時テロ事件で来場者数が落ち込んだ16年1月展以来、初の2ケタ増に回復し、活気のあるセッションとなった。また主催者は、会期4日間のうち3日以上に来場した人数は28%増え、サイブスの向上の反映と指摘。元々

ラフォーレ原宿が21ブランドを集めたPCには、同商業施設テナント2ブランドが単独出展した。ポップでガリィな「ローズマリー」は、ラフォーレのブランド横に初出展。フーネクスのキヤンディーのようなハート形ヒールサンダルをはじめ原宿テイストのシューズが人気を集め、仏高級百貨店などから期間限定



ポップでガリィな「ローズマリー」のシューズが人気を集めた

店の引き合いがあり、海外展開の糸口をつかんだ。5回連続出展の「ケオラケオラ」は、主力の携帯ケースからアイテムを広げ、フィリピン製ハンドメイドの猫・犬フェイスのラタンバック（FOB＝本船渡し）価格10

### 社団法人やさしい革が「レザーサーカス」事業始動



産地の生産者、作り手など賛同者が集まった

通にのせる仕組みを構築し、ブランド化してメイド・イン・ジャパンの価値ある製品を生み出す事業へと発展した。

山口代表はタンナーの山口産業の社長で、独自の植物タンニンなめし「ラセッター」製法の革を供給している。これまでも、産地から獣皮を送ってもらい、なめして送り戻す取り組みを行ってきた。ただ、これらが特産品として商品化されていくことから、産地から売るところまで賛同者を広げる。レザーサーカス認証の産地には、証明ロゴを発行する。

わす、1枚5000円。基本は産地と作り手の直接の商品化を推奨している。

鹿やイノシシなどの獣革は、個体差や傷や汚れがあるため、製品化しにくく、流通構造から排除されてきた。レザーサーカスでは、これらを個性として価値ある製品を作り、SNS（交流サイト）などの情報発信やコミュニティに力を入れ、その価値を理解できる人の手に届く仕組み作りを目指す。

### 「コムデギャルソン」の「闇市」が人気



阪急うめだ本店の9階祝祭広場で開いている「ブラックマーケット・コムデギャルソン」が人気だ

1000万円以上販売したという。

ブラックマーケットは、通常売場ではない空間で展開する。闇市をテーマにした期間限定店で、百貨店では初めての展開。売り場面積は約23平方メートルで、91年製作の復刻Tシャツ（1万2600円）、「アルファMA-1のカスタマイズ商品（7万3440円）や「ポーター」「ルイスレザー」などの協業商品、80年代の家具シリーズなど30種類以上の限定商品を揃えている。10月9日まで。

社団法人やさしい革（東京・墨田区、山口明宏代表）は、鹿やイノシシの獣革の産地と作り手、売場と消費者をつなぐ「レザーサーカス」事業を始動させた。経済産業省の支援のもと、書庫除菌剤を販売している皮の有効活用と地域活性化を進め、様々な企業や人材とともにエンカル（倫理的な）ブランドとして育てる。

て、日本各地でニホンジカやイノシシの駆除が取り組まれている。農作物を食い荒らす害獣被害は年間200億円近く。レザーサーカスの発端であり、産地を支援するマタギタプロジェクトによって、獣皮を活用する産地は全国で32カ所まで広がったが、現状は年間80万頭が駆除されているのに対し、なめし革として活用されているのは約3000枚。そこで、害獣皮を流

取り組むことになった。ただ、これらが特産品として商品化されていくことから、産地から売るところまで賛同者を広げる。レザーサーカス認証の産地には、証明ロゴを発行する。

作り手は現在、自転車に関連した革小物・雑貨を作る「マワレ」、携帯用の太陽光ライト「ソーラーパフ」、靴職人の花田優一さんが参加している。なめし革の工賃は獣皮の大小を問

佐川グローバルロジスティクス、タカキューのドレスシャツ、ベトナムで一貫物流に着手

SGホールディングスグループの佐川グローバルロジスティクスは、タカキューがベトナムで生産するドレスシャツのベトナム一貫物流に着手した。SGホールディングスグループの現

### ベトナムで一貫物流に着手

地法人、SG佐川ベトナムのトウソン倉庫で入荷、検品、店舗別アソート、国内配送伝票の貼付といった物流加工を行った後、日本国内のタカキューの店舗に納入する仕組みで、8月18

日からスタートさせている。従来の仕組みでは、港SRC（名古屋港港区）で商品入荷後に物流加工を実施していた。佐川ベトナムで物流加工を行うことで、出荷の優先順位の高い物からコンテナに積載することが可能となり、「日本に到着後、港SRCでデパニングし、すぐに店舗へ発送することで商品供給のリードタイムが2～3日短縮することができた」。さら

グランプリに杉本さん

ナゴヤファッションコンテスト2017

ナゴヤファッションコンテスト2017は、このほど、ファッションショー形式による最終公開審査会を開き、グランプリに杉本安寿さん（中部ファッション専門学校）の作品「流転」を選んだ。同コンテストはナゴヤファッション協会、名古屋市のナゴヤファッション協会、各古屋市などで構成するナゴヤファッションプロモーション実行委員会が毎年開催している。今回は国内、海外15カ国、4007名の応募作品から、最終ノミネート33点を選び、ファッションデザイナーの中野裕通氏らによる審査委員会がグランプリなど各賞を選んだ。

女性インスタグラマー約20人によるSNS（交流サイト）展開、モデルの三浦理志氏とのタイアップなど様々なプロモーション活動も行う。

フェニックスグループ、萩野会長が外務大臣賞、フェニックスグループ・ホールディングス会長でアンテナリマジャパン社長の萩野正明氏はこのほど、平成29年度の外務大臣賞を受賞した。同賞は国際関係の様々な分野で活躍し、諸

「コムデギャルソン」の「闇市」が人気

阪急うめだ本店の9階祝祭広場で開いている「ブラックマーケット・コムデギャルソン」が人気だ

1000万円以上販売したという。

ブラックマーケットは、通常売場ではない空間で展開する。闇市をテーマにした期間限定店で、百貨店では初めての展開。売り場面積は約23平方メートルで、91年製作の復刻Tシャツ（1万2600円）、「アルファMA-1のカスタマイズ商品（7万3440円）や「ポーター」「ルイスレザー」などの協業商品、80年代の家具シリーズなど30種類以上の限定商品を揃えている。10月9日まで。

佐川グローバルロジスティクス、タカキューのドレスシャツ、ベトナムで一貫物流に着手

SGホールディングスグループの佐川グローバルロジスティクスは、タカキューがベトナムで生産するドレスシャツのベトナム一貫物流に着手した。SGホールディングスグループの現